令和6年7月3日

横浜市小学校社会科研究会

3学年部会

研修会記錄

第 2 号

横浜市小学校教育研究会

沼田 留美子 会長

横浜市小学校社会科研究会

会長 高畠 聡

同学年部長 栗田 一輝

【提案日時】

7月3日(水)

横浜市立平沼小学校

提案

柳下 千裕 先生(茅ヶ崎小)

【会場】

先生(大道小) 司会 對馬 愛美

記録 会田 架 先生(市場小)

### | 単元名

単元名「わたしたちのまちと市~横浜市営地下鉄で広がる横浜市~」

#### 2 提案者より

身近な地域や横浜市の様子を大まかに理解できるようにするため、単元を見通す学習問題につなが る資料の精選や提示の仕方を大切にした。また、単元を通して学んだことや新たな問いをもつことができ るよう、ワークシートによる振り返りの活用を目指した。

# 視点①「単元づくり」

子どもが自ら問いを見いだし、主体的に学び続けることができる単元づくりのために、いくつかの市営地下鉄 駅の周辺の様子を取り上げた。本時では駅舎や周辺の様子が分かる資料として実際に教師が下車して撮影 した写真と動画を精選しながら提示した。

#### 視点②「授業づくり」

まちの調査に行った「都筑ふれあいの丘駅」や「センター南駅」と他の市営地下鉄駅周辺の様子を比較しな がら考える場面を設定した。その中で、駅によっても違いがあることや様子が分からない場所があることから横 浜市の様子についてもっと調べたいという思いをもてるようにした。

## 3 協議会

### ○資料の精選と提示

市営地下鉄でも場所によって交通量や土地利用が大きく異なる点が資料によって分かりやすく視覚化さ れていた。動画の資料についても、同じ画角で建物の高さなどが比較しやすかった。一方、短い動画では情報 量が多く、理解が及ばない児童もいるため、視点を明確にして提示を行う必要がある。

### ○問いを引き出す教師のかかわり

「都会すぎる」=「センター南駅を比べると何が違うのか?」という問い返しをするなどより具体的な比較 を行い、提示した資料以外の地域についても「調べてみたい」「比べてみたい」という主体性を引き出せると さらにいい(駅の周りの様子を積み重ねることで大まかにとらえていけるのではないか)

### ○振り返りの仕方

前単元の「土地」「建物」「交通」の視点を活用することで内容の充実が図れるのではないか。また、ワークシートに白地図を記載、そこに学んだことを書き込んでいくことで、授業内容の積み重ねを実感し、児童の意欲も引き立てられると考える。発達段階を踏まえ、子どもの振り返りを教師が価値付けしたり、全体で共有したりすることで、振り返りの仕方について学んでいけるようにすることも手立てとして考えられる。

# <講師の先生より> 六つ川台小学校 校長 鳥山 真先生

3年生の最初の単元になるため、社会科が好きになってほしい。社会科の見方・考え方を働かせることを、自分たちのまちを見る時につかんでほしい。地名から、方角や土地の様子が分かる。駅を比較することで人の動きが見える。○○はこういう理由でこうなっているということが言える姿を目指したい。

効果的な資料の提示を行う際には、「意外性」を意識した資料の精選を行いたい。児童の持つイメージと資料が示す内容が一致しないときに児童は初めて様々なまちがあることを知る。その時の意欲をその後の学習につなげていきたい。写真は意図的に情報を提示することができるため、風景写真や航空写真、高低差を示す地図などを活用して、効果的な導入を組み立てていきたい。

文責 会田 (市場小学校 )